

第62回日本臨床細胞学会総会（春季大会）開催報告

第62回日本臨床細胞学会総会・学術講演会（春季大会）を、2021年6月4日から6日まで幕張メッセ国際会議場で現地開催、6月18日から7月11日までWeb開催のハイブリッド開催で担当させていただきました。

現地開催で約1400名、Web開催を合わせますと合計約7100名の参加者がありました。

今回のテーマは「次世代の細胞診を考える」でした。

会長講演では、大会長の千葉大学大学院医学研究院生殖医学 主任教授の生水真紀夫先生が「女性ホルモンに纏わる疑問」のタイトルで、細胞診と女性ホルモンとの関わり、細胞診から見える女性の性周期のダイナミクス、考える愉しさをお話しされました。また招請講演、特別講演、要望講演など、多くの興味深い講演を頂戴することができました。

COVID-19感染拡大の影響でWithコロナの中での新しい学術講演会のあり方を模索しながら本会の運営に当たらせていただきました。十分な感染予防対策を講じながら現地開催を滞りなく終えることができたことは大変喜ばしいことだと感じております。

この場を借りましてこれまで総会・学術講演会の企画、運営に関わってくださった多くの関係者の方に厚く御礼申し上げます。